

523

令和5年夏号

Contents

お湯南訪問看護ステーションのご紹介 ……

施設ご案内・交通ご案内地域医療連携室のご紹介

12 10 8 4 2



医療法人 恒 仁 会 新 **涡 南 病 院**

新潟南病院 訪問診療のご紹介

新潟市の現状

平均寿命の延伸や団塊世代の高齢化がすすみ少子化も進行しています。令和2年の高齢化率は29.7%で、75歳以上の単身高齢者数は18000人に及び高齢者人口の8.1%を占めています。さらに認知症高齢者も増え、要介護認定者はここ数年で1,000人前後増加しています。それに伴い身体機能の著しい低下で日常生活に介助が必要であったり、認知症が悪化したり、おひとりで通院することが困難な患者さんが増加します。



~ 新潟南病院 訪問診療 ~

当院では、ご自宅や施設にうかがっての訪問診療を行っています。

訪問診療は、医師と担当看護師が一緒に、月に2回程度定期的・計画的にうかがって行います。訪問診療契約をしている患者さんに対しては、状態が悪くなった際に緊急で訪問し診察を行う、いわゆる往診を行っています。血液検査や心電図検査などの検査、薬の処方に加え、インフルエンザウイルスや肺炎球菌などの

ワクチン接種、胃ろうカテーテルや尿道 カテーテルの交換も行っています。ま た、在宅でのお看取りにも対応しており ます。担当看護師は、患者さんやご家族 からの相談に応じ不安や疑問を減らし安 心して療養をおくれるよう、医師と連携



をとりながら対応しています。2022年度の訪問実績は、月83.3人の方に訪問し、年間の延件数は1887件でうち往診は99件でした。平均年齢は約88歳で、7割の方が女性です。新規の患者さんは29人。18人の方に看取りをさせていただきました。

近年、訪問診療を行う医療機関が増えてきていますが、当院は病院が行っている訪問診療です。その一番の特徴は、入院や外来の患者さんを今までの診療の延長として訪問診療を導入できること、そして入院が必要な際には当院内にベッドを確保して訪問診療医が入院主治医として継続した診療が出来ることです。新規の患者さんの約6割が院内から紹介されていますが、入院中に相談され退院後から訪問診療を開始する患者さんが多いです。その場合、病状や自宅の様子などの情報を担当医や看護師、リハビリセラピストなどから入院中に得ることが出来るので、スムーズな訪問診療開始が可能です。 昨年、訪問診療をご利用されている患者さんやそのご家族にアンケート調査を行いました。訪問診療を知ったきっかけは、主治医・看護師・ケアマネージャーからの紹介が78.7%、院内のポスターやパンフレットをみてが14.8%でした。また、開始のきっかけは患者さんご本人の通院困難が63.8%、医療従事者などのすすめが27.7%、通院介助困難が17.0%でした。また、当法人内には訪問歯科、医療相談員、訪問リハビリ、訪問栄養指導、訪問看護ステーション、在宅介護支援センター(ケアマネージャー)の在宅療養部門があり、互いに連携しながら在宅での療養を支援しています。

当院の訪問診療を依頼したい、話を聞きたい、などがありましたら、訪問診療 までご相談下さい。パンフレットを外来に備えています。

当院のホームページでもご覧いただくことが出来ます。



新潟南病院 訪問ツルビツテーショシのご紹介



訪問リハビリって?

- ●理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が ご自宅に訪問して行うリハビリです。
- ご自宅での日常生活を安心して円滑に 行えるよう支援します。
- ●趣味や生きがいを持った生活がすごせるよう、目標を共有して支援します。

新潟南病院の訪問リハビリ

新潟南病院の訪問リハビリでは心身機能・生活動作・飲み込み・コミュニケーション等各々の専門職が関わり、お一人お一人に合わせたリハビリを行うことができます。

病院を事業所としていますので医師や歯科 医師、管理栄養士等とも連携してリハビリを 行っています。



在宅復帰を支える

入院での治療・リハビリを終えて自宅に退院する際、環境が大きく異なる ことから思いがけない不自由や不安を感じることがよくあります。



\ 例えば… /

「住み慣れた家なのに思っていたように動けない」

「退院すればできるもんだと思っていたのにうまくいかない」

「誤嚥性肺炎を繰り返すのが心配 |

「食事の準備や介助に不安がある」

「コミュニケーションがうまくとれない」 など

病院でできていたことができなかったり、予想外のことが起こったりします。



退院直後の 訪問リハビリの 主な関わり

- ●退院時の提案が在宅生活に活かされているかを確認
- ●ご自宅の環境や介護状況に合わせた日常生活動作の手段等を検討・練習
- ●心不全、誤嚥性肺炎等病気の再発や転倒による再入院の予防
- ●ご本人への支援の他、介護者への介助方法等のアドバイスや支援

当訪問リハビリではスムーズにトラブルなく在宅復帰ができるよう支援しています。

SNS で情報発信中!

当事業所では訪問リハビリを知っていただき たいとInstagramやFacebookで取り組みや情報 を発信しています。

ぜひご覧になってみてください。



活動・参加の訪問リハビリ

活動

●生活の様々な活動(日常生活動作・家事・仕事など)









参加

- ●家庭や地域社会での役割
- ●自分らしい主体的な活動







活動や参加の種類や方法、場面は十人十色であり、活動をともにする人も異なります。活動・参加の訪問リハビリでは「その人らしい生活」、「社会参加|を実現することを支援します。

その人がしてみたい生活を具体的な目標にすると、リハビリにも前向きに取り組むことができます。活動や参加の機会が増えると心身機能も改善します。

なかには活動や参加の機会を増やしていくことに不安を感じる方もいらっしゃいます。訪問リハビリでは少しでも前向きに安心して活動・ 参加の機会を増やせるようお手伝いさせていただきます。



楽しみ・生きがいの実現

病気やケガを機にこれまで行っていた楽しみや生きがいとなる活動を諦めたり、後回しにしている 人もいらっしゃいます。道具の工夫や環境を変えることで役割活動や趣味活動を再開できることは多 くあります。

家庭での役割をもったり花を育てたり、旅行に行くことなど、訪問リハビリでは楽しみや生きがい の実現の支援をしています。

摂食嚥下の訪問リハビリ

摂食嚥下とは簡単に言うと「食べる・飲む」という行為を示します。「食べる・飲む」ということは必要な栄養を取り入れる、味を楽しむ、食事の場面を通じてコミュニケーションを楽しむなど、私たちの生活においてとても大きな意味を持っています。摂食嚥下の訪問リハビリとは、ご自宅など実際の生活場面で行う「食べる・飲む」リハビリです。

新潟南病院の摂食嚥下リハビリは歯科との連携を密に嚥下機能検査を行っています。課題を明確にし、姿勢、食事の仕方、食物の種類、補助的な栄養法、歯科的管理などにも配慮し、安全かつ楽しく食事ができることを目指しています。





外食の実現

摂食嚥下の障がいがある方でも、摂食嚥下の機能に配慮し、 食べ物や食べ方を工夫することで、外食を実現できることもあ ります。

「思い出のラーメン屋のラーメンを食べたい」「家族と旅行 先でお膳を囲みたい」という願いを叶えられた方もいます。

すべての方の願いを必ず実現できるわけではありませんが、 私たちは少しでも願いが叶えられるよう支援します。



訪問リハビリは、つづけることが目的になりがちです。もちろん継続は大切ですが、リハビリの目的は「その人らしい生活」「社会参加」を実現することです。そのため、次のステップへの移行としてサービスを修了することも相談していきます。

また時間に重要ステーションのご紹介

新潟南訪問看護ステーション 所長 野田 菜穂子

訪問看護はご自宅や施設で生活している方が、その人らしい生活ができるために、体調や生活環境を整えるためのサービスです。主治医である医師から指示をいただき、定期的に伺い、体調や生活状況を確認しています。体調を崩しているようなら要因となっていることを一緒に見直し、改善できるよう導いていきます。そのため、年齢や性別に関係なく、誰でもが受けられます。ご自宅に伺うので、本人だけでなく同居している家族との関係性や介護者の体調、本人が大事にしていること、困り事や悩みが健康や体調にどう影響しているのか整理しながら、関わっています。

例えば、退院直後に訪問すると、徐々に食べられなくなり寝てばかりで怒りっぽくなり、家族が途方に暮れていました。本人は「痛くて食べれない」と言い、家族は「痛み止めだから常に飲んじゃだめでしょ」と意図的に控えていました。軟らかい食事を提供していましたが、食べる時に痛みがあり1時間以上かかっている状況だったので、家族に痛み止めを使うことで、食事が増え体力がつくメリットを説明し納得してもらいました。次の訪問では、痛み止めを飲んで食事が増えたと喜んでいました。同時に、便秘があると食欲に影響するので、食事内容を見直しながら、頓服薬の使い方をアドバイスし3日に1回排便できることを目指し

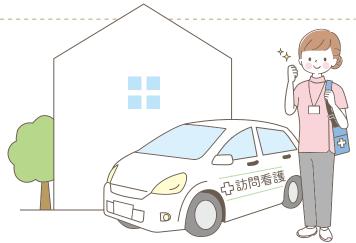




ました。このように、何に困りどのような影響が出ているのか状況を見極め、本人と家族の思いを聴き、具体的にどのように対応するか解決策を導いていきます。家族の誰かが具合が悪くなると、家族の役割や生活が変わってしまいます。訪問看護は、本人の体調管理を通して、家族関係や家族力を見極め、頑張り過ぎない介護を目指します。定期的に伺い、できることの継続と成功体験が意識付けとなり、自身の健康や家族力を見直すきっかけとなります。訪問看護は本人や家族ではできないケア(吸引や点滴や傷の手当など)で体調を管理する事はもちろん、ちょっとした工夫や助言で、自己解決力を引き出すケアが重要と感じています。慣れ親しんだご自宅で、体調が少しでも安定し楽に生活できるためのサービスです。

私たち新潟南訪問看護ステーションは、ベテランの常勤看護師 5 名と事務員 1 名と(病院からリハビリスタッフの派遣も可能)、中央区では中規模クラスのステーションです。病院や施設ではなく、専門スタッフがいないご自宅で生活している方に直接触れ、応援したいと思っている看護師ばかりです。本人だけでなく、介護者の方への対応も含め、主治医には言いたいけど言えない相談や、不安で押しつぶれそうで誰かに吐き出したいなど、モヤモヤ感をひとつずつ減らし、明日への活力のきっかけに役立てればと思いながら訪問しています。

同時に、最期まで住み慣れた家で家族に囲まれながら過ごしたい方や、小児や精神疾患の 方にも伺います。家庭環境は一つとして同じものはありません。"頑張り過ぎない、楽な在宅 療養"を本人や家族、主治医やケアマネジャーなど関係者と共に築き上げていければと思っ ています。



地域医療連携室のを紹介



地域医療連携室長 小林 奈美

「地域医療連携室」を聞いたことがありますか。もしかしたら、総合受付の脇に表示があるので、見たことはあるかもしれません。地域医療連携室のことは知らなくても「医療相談員」や「相談員」という名前は聞いたことがあるかもしれません。

地域医療連携室はその名の通り、地域の様々な所と連携を行う部署です。

医療相談員は地域医療連携室に所属しています。

地域医療連携室の業務の中で最も多い業務は「退院支援」です。



昨日まで1人で生活が出来ていた高齢者が、急に具合が悪くなって救急搬送されることは当院ではよくあることです。

救急搬送され治療を行い、元気になって元のように1人暮らしが出来るようになれば、私たち医療相談員の介入なく、 退院されます。

しかし入院治療を行うと、治療で病気はよくなったけど、前より体力がなくなった、体の動きが悪くなった、物忘れが多くなった等、元のように1人暮らしをするには心配な状況になることも多々あります。

このような場合には、医療相談員が介入し、退院のお手伝いをすることをいいます。



まず、病院内の医師、看護師、リハビリ等と連携し、ご家族に患者さんの今の状態について知ってもらいます。一緒に暮らしていない場合、もともとの生活状況をあまり分からなかったり、認知機能の低下に気づけないこともあります。そんな時には、私たちと退院後の生活について、一緒に考えます。

ご家族で行える支援は何か、何を手伝ってもらう必要があるのかを検討し、必要に応じて、介護保険の申請方法や利用できるサービス等について説明をします。もちろん、介護サービスはご家族が同居している場合でも利用できますので、患者さん、ご家族の意向を確認します。同居している場合は、患者さん、ご家族の心身の健康のためにも介護サービスを導入することもあります。

自宅に退院し、介護保険を利用する際には、ケアマネージャー(介護保険の専門家)を利用します。退院後はケアマネージャーが中心となり、デイサービスやショートステイ、福祉用具のレンタル等行います。医療相談員は、病院と地域のケアマネージャーが連携し、病院で行っているケアをつなぎ、退院後も病気の再発や悪化がなく、安心して過ごしてもらうように調整します。

もしも、自宅退院が難しい場合には、施設等の自宅以外の退院先を一緒に検討します。その際には、施設等の職員と連携し、受け入れについて相談を行います。

このように、患者さんが安心して退院を迎えられるように、病院の中だけでな く、地域の事業所とも連携しています。

医療相談員の支援の対象は、入院患者さんだけではありません。

外来に通院いただく患者さんやそのご家族も含まれますので、相談事があれば、 外来の医師や看護師、受付の方でも構いませんので、遠慮なく声をかけてください。医療相談員5人という少人数の部署ではありますが、患者さん、ご家族、地域 の方々が少しでもよりよく生活が送れるように支援させてい頂きたいと思います。

施設ご案内・交通ご案内

介護老人保健施設 女池南風苑 〒950-0943 新潟市中央区女池神明1丁目3番地3 TEL(025)284-3411 FAX(025)284-2188

女池南風苑

〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野2009-3 TEL(025)283-0500 FAX(025)283-0663

新潟南訪問看護ステーション

〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野2009-3 TEL(025)284-7511 FAX(025)283-0663

にいがたみなみ めいけクリニック

〒950-0943 新潟市中央区女池神明1丁目7番地8 TEL(025)284-7818 FAX(025)284-7830

サービス付き 高齢者向け住宅 サ高住 にいがたみなみ

〒950-0950 新潟市中央区鳥屋野南3丁目25番16号 TEL(025)284-3535 FAX(025)282-7226



上記以外にも、最寄りのバス停から当院までのルートを下記のURLにて調べることができます。

にいがた新バスシステムの時刻表・運賃検索

https://transfer.navitime.biz/niigatabrt-newsystem/pc/map/Top



フロアご案内

1 № 10 総合受付

11 小児科 小児言語聴覚療法

12 内科

13 中央処置室 採血 点滴 化学療法

14 放射線

15 内視鏡·生理検査

16 救急·時間外

2階 ② 母乳外来

整形外科·外科·皮膚科·泌尿器科

23 眼科

24 歯科·婦人科

25 ドック・健診センター

3階 🗿 手術センター

32 管理部門

4階 西病棟 401 ~ 420 東病棟 451 ~ 469

6階 6 リハビリテーション室

西病棟 601 ~ 610